

何気ない景色が全国へ

磐田市でもテレビドラマや映画などのロケ地として、さまざまな場所が活用されています。普段の生活では、磐田市の自然や史跡、行き交う人々も何気ない景色の一部になっています。しかし、その一つ一つが、美しく切り取られてテレビ画面やスクリーンなどを通して見ると、特別な光景に感じられます。ここ1年で取り上げられた磐田市の各所をご紹介します。

☎ 広報広聴・シティプロモーション課 ☎0538-37-2275 FAX0538-32-3946

テレビ NHK 大河ドラマ 西郷どん



▲大名行列を演じているエキストラの皆さん



▲福田中央交流センターでの準備の様子



▲撮影当日はセットも設営されました

明治維新に活躍した西郷隆盛の生涯を描いたNHK大河ドラマ「西郷どん」の撮影が、昨年12月に市内の鮫島の海岸周辺で行われました。

福田中央交流センターでは、出演者やエキストラの支度場所として、衣装や小道具などが運び込まれて早朝から撮影の準備が行われました。

市民などから選ばれたエキストラが約50人も参加し、撮影は大いににぎわいました。

撮影された場面は、8話から10話に登場して全国に放送されました。

インタビュー

本当に貴重な経験をしました。磐田市の魅力は自然が豊かで、ゆっくりと時間が流れるところだと思っています。テレビ画面を通して、多くの方にも伝わっていれば嬉しいです。

侍女役を演じた平田 明子さん



子どもの頃から侍になるのが夢だったので、すぐに応募しました。早朝からの撮影でしたが、エキストラの方々と交流ができて楽しかったです。また機会があればチャレンジしたいです。

侍役を演じた木村 文哉さん



見付天神

朝日住宅株社屋

★ 福田の海岸周辺

映画 明日にかける橋 1989年の思い出

「明日にかける橋」は、過去に弟を亡くした主人公が願いが叶うといわれる橋を渡り、タイムスリップした1989年の世界で家族崩壊のきっかけになった弟の死を防ごうと奮闘する物語です。今年全国で公開され、8月にはアメリカのロサンゼルスで開催された「ジャパン フィルム フェスティバル ロサンゼルス」で特別賞を受賞しました。昨年8月に市内で撮影され、山崎屋(国府台)や朝日住宅(株)社屋(今之浦)、敷地川沿いの小道、旧見付学校などが登場します。

インタビュー



山崎屋 山崎 雅弘さん

磐田市を盛り上げるためにロケの依頼を引き受けました。映画を見てお店に来てくれた人からも評判が良かったので嬉しかったです。



▲夏の日差しの中撮影されました



▲単独インタビューに応じてくれた鈴木杏さん(左)と太田隆文監督(右)

主演 鈴木 杏さん

撮影に協力いただいた市民の皆さんの人柄が温かくて、素晴らしい場所も多くありました。写真を撮って画になる場所がいっぱいあって、撮影していて気持ち良かったです。

監督 太田 隆文さん

地元の人だと気付かないかもしれませんが、物語を感じられるいい場所がまだまだあります。映画を通じてこの地域の良さを再発見してもらいたいです。

漫画 ゆるキャン△

「ゆるキャン△」は、山梨県を舞台に女子高生たちがキャンプを満喫する姿や、日常生活の様子を描いた作品です。山梨県や長野県、静岡県を中心に、原作者のキャンプノウハウや自然描写の美しさなどが話題になり、アニメや映画にもなっています。

単行本第5巻には、市内の福田の海岸周辺や竜洋海洋公園オートキャンプ場、見付天神などが登場し丁寧に描かれています。



© あfろ / 芳文社



▲竜洋海洋公園オートキャンプ場をモデルに描かれている場面(左)実際の写真(右)



敷地川沿いの小道

旧見付学校

山崎屋

鯨島の海岸周辺

竜洋海洋公園
オートキャンプ場